



桜の蕾とともに始まった第1学期も、今日で一区切りを迎えました。初めての集団生活に踏み出したつぼみぐみと新入園児の子ども達は、朝の挨拶から靴の脱ぎ履き、食事の準備から後始末… etc 毎日コツコツと積み重ねるうちに、いつの間にか自分の力でできることがグンと増えましたね（笑）



年中・年長児達は、小さな努力を積み重ねて「できた！」を重ねる中で、達成感や充実感、そして自分で頑張ることの面白さを肌で感じ始めています。たくさんの「課題活動」に取り組み、友達との「育ち合い」の中で見せる笑顔に確かな成長を感じます。

白ゆりっ子達の心と体が着実に育まれたのは、ご家庭の皆さんが温かく見守って下さったおかげです。第1学期の教育カリキュラムにご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。長い夏休み期間になりますが、どうぞ親子でたくさん季節の発見を楽しみ、子ども達の「やってみたい！」の芽をさらに伸ばしてあげて下さい。第2学期に一回り大きくなった子ども達の笑顔に再会できることを楽しみにしております。

札幌白ゆり幼稚園 スタッフ一同



♡♡♡ 夏休み「生活表」を活用して下さい♡♡♡

夏休み期間中も、生活リズムを整えることは子ども達の健やかな成長に欠かせません！本日持ち帰った「夏休み生活表」を活用し、早寝早起き、バランスの良い食事、適度な運動を心がけましょう。また、日々の「お手伝い」も大切な学びの一つです。「パパの役に立った！」「ママが喜んでくれた！」という実感が子ども達の「自信と意欲」に繋がります。「ありがとう！」の一言が、次の原動力に… ご家庭でも温かな言葉掛けをお願いします。



🎉🎉🎉 まだまだお楽しみが… 🎉🎉🎉

夏休み期間中も子ども達にとって楽しい行事がありますよ（笑）年長児達は「石狩浜」での「豪快な砂遊び」に真夏の冒険「お泊まり会」… 7月26日（土）は白ゆり幼稚園夏の恒例行事「白ゆりマルシェ」があります。白ゆりマルシェは、白ゆり幼稚園がお店屋さんに変身して子どもから大人までが楽しめるイベントです！

第2学期始業式は8月19日（火）です。8月の「お誕生会」もあります。

ワークライフバランス先進国～デンマークに学ぶ家族と仕事の両立～

2ヶ国目の視察先はデンマーク。皆さんご存知の通り世界幸福度ランキング第2位、しかも6年連続です。（ちなみに日本は2025年度55位、昨年より4位もランクを落としています）デンマークを訪れて、まず心に残ったのは、すれ違う人が老若男女問わず自然に微笑みかけてくれること。目が合えばニコリ、特別な言葉はないけれど「ここにいても大丈夫！」と感じさせてくれる穏やかな優しさが街に流れて、デンマークの「幸福度の高さ」を象徴しているように感じました。デンマークでも多くの方にヒアリングさせていただきましたが、その中で気付きは「人を信じる」「困っていたら声を掛ける」「一緒に支え合う」という文化が根付いているということでした。

デンマークは世界有数のデジタル先進国でもあり、このことが幸福度を誇る国であることに深く関係しています。単にテクノロジーが発展しているということではなく、人々の「安心」「信頼」「自由」を支える形でデジタルを活用している点がポイントです。デジタル化は単に便利だけでなく、社会の「見える化」に繋がっていて、政府の支出・教育・医療等の情報も公開されていることから、不信任感が生まれにくいそうです。何か問題があっても、声が届けやすく、修正されやすい社会構造があり「自分は社会に守られている」という安心感があると現地の青年が話してくれました。

デンマークの子育て真最中の父親は、「デンマークの働き方は8：8：8の法則です」と話してくれました。

8時間の睡眠、8時間の仕事、8時間の家族や自分のための時間という考え方がライフスタイルの基本だそうです。デンマークでは「残業＝頑張っている」という評価はなく、時間内に成果を出して帰宅することがプロという評価が主流で、オフィスも幼稚園も17時には電気が消えるそうです。幼稚園や学校の送り迎えも「当然確保されるべきもの」として社会的に守られていて、この父親は子どものお迎えのために、15：45に退勤することを認められているそうです。もちろん、そうしたワークライフバランスを支えるためには、経済的な安心も欠かせません。ドイツ同様、デンマークの子育てにかかる経済的負担も社会全体で支える仕組みとして整っていて、子育てに対する経済的支援が「子供を産んでも生活が安定している」という安心感になり、親世代・若者世代の心の余裕に繋がっていると話してくれました。もし、日本でもこうしたライフスタイルが浸透し、経済的負担も社会全体で支える仕組みがあれば… 共働きのご家庭にとっては、まさに理想の働き方と言えますね！

デンマークは「高福祉国家」を支えるために税負担率が非常に高い国として知られています。国民負担率は43%～44%、実は日本とほとんど変わらないのです。にも、関わらず、なぜ幸福度が高いのか？！

あくまでも私見としてご承知お下さい。「どれだけ取られているか！」よりも「どう使われているか！」「それによってどんな安心感が得られるか！」が幸福度を左右するということではないでしょうか？！

2ヶ国を視察させていただき、強く感じたこと…「今、目の前にいる子ども達が幸せを感じられる国にしてあげなければならぬ！」「生きやすさ、が当たり前前の社会にしてあげなければならぬ！」そのためには、私達大人が「働き方」「暮らし方」「育て方」を問い直すことが大切だと痛感しました。「国」「家庭」「職場」「地域」「教育機関」が同じ方向を向いて子ども達の未来を支える社会を創らなければなりません！

ヨーロッパ諸国は、国全体で「未来への投資」として子育て・教育への予算を厚くしています。

「子どもは国の宝！」日本人も同じ考えのはずです。教育や保育・子育てに関する制度が充実して、子どもが生まれれば手当や税制面で手厚い支援が受けられ、子どもを見つめる社会の眼差しも優しく…

私達大人にできることは、情報をシェアし合い、良い制度や工夫をまず知ることから始め、それらをしっかりと声に出して、行政や企業、に届け、動かしていくことではないでしょうか！

これらのことは小さな行動の積み重ねから始まります。私達大人が子ども達のために本気で目指すことではないでしょうか？！